

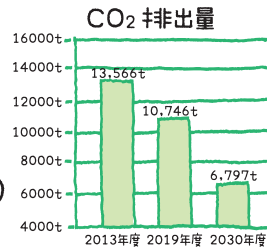
ならコープの 2030 環境ビジョン



ならコープの2030環境ビジョン

目標1

CO₂ 排出量を
50%削減
(2013年度対比)



- 1 「2030年に向けた温室効果ガス削減計画」を策定し、着実に実行します。化石燃料由来のエネルギーを、CO₂を排出しない再生可能エネルギー主体に転換します。

車両のEV化

再生可能エネルギーを
1300万kWhつくる

目標2

食品ロス50%削減 (2019年度対比)

- 2 生協事業ならびに組合員家庭から生じる食品廃棄物・食品ロスの削減をすすめます。

発注精度を高める

フードドライブ、フードバンク
活動に協力

目標3

プラスチック容器包装排出量を30%削減
(2018年度対比)

- 3 プラスチック容器包装材と資材の削減に取り組みます。

自然界で分解するトレーや
包材への切替

配達時に使用する
内掛袋を削減

目標4

行動指針
(エシカル消費の拡大)



- 4 奈良の豊かな自然と文化を守り次世代の子どもたちに引き継ぐため、環境にやさしい地域づくりをすすめます。

地元食材や生態系に配慮した商品の利用

2030環境ビジョンの考え方(大切にしたいこと)

奈良の豊かな自然を
次世代の子どもたちに残す

大量生産・大量消費・大量廃棄
使い捨て文化からの脱却

エネルギー問題・ごみ問題
(食品ロス・海洋プラスチック)
の解決

国連が提唱する持続可能な
開発目標(SDGs)の具体化



2050年にゼロエミッションの実現



環境問題に取り組む基本的な考え方

〈ならコープ環境基本政策（1991年策定）〉

- ① 環境問題は生協にとって単なる重要課題ではなく、生協の理念に関わるものとして位置づけ、生産—流通—消費—再生—廃棄に関わり、多くの市民が参加する組織としてその役割を果たすために努力します。
- ② 取組みに当たっては、組合員の主体的な取組みを基本とするとともに、事業者としての社会的責任を果たす意味でも環境にやさしい事業の取組みを進め、事業高の0.1%程度の資金も用意して積極的な役割を果たします。
- ③ 環境活動の課題の中でも、組合員に最も身近な「ごみ問題」を中心的なテーマとし、使い捨て文化に流されない新しい価値観を創り出して、行政や多くの市民とともに「人づくり、まちづくり」の運動を進めます。



世界の環境情勢



- IPCC第5次報告書(2014年)
- 持続可能な開発目標(SDGs)採択(2015年)
- 国連気候変動枠組条約締結国会議(COP21)「パリ協定」採択(2015年)
- 米国パリ協定離脱(2016年)
- 海洋プラスチック憲章(2018年)
- IPCC1.5度特別報告書(2018年)
- 国連ミレニアムサミット(2000年)
- マータイさんにノーベル平和賞(2004年)
- 京都議定書発行(2004年)
- ゴア氏とIPCCにノーベル平和賞(2007年)
- 国際再生エネルギー機関(IRENA)設立(2009年)
- 国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第一次報告書(1990年)
- 地球サミット(1992年)
- 地球温暖化防止京都会議(COP3)京都議定書採択(1993年)

ならコープ環境の取組み

2050 CO₂ 排出量実質ゼロに向けた取組み ～ゼロエミッションの実現～

- 次世代車両への切り替え
- ならコープでんきの再生可能エネルギー比率100%

2030環境ビジョン 2020年～



フードドライブ
〈2018年 コープおしくま〉

- CO₂排出量を50%削減
- 食品廃棄量を50%削減します
- プラスチック容器包装排出量を30%削減
- エシカル消費を拡大

2020年に向けたならコープの新たな環境政策 2012年～



つくばね小水力発電所見学会
〈2018年 東吉野村〉

- 低炭素社会に向けた取組み
- 原子力発電に頼らない社会の構築
- 奈良の豊かな自然と文化を次世代へつなぐ取組み

新環境政策 2001年～



- 環境保全活動
 - 循環型社会システムの構造
- 使用済み天ぷら油回収
〈2009年 ディアーズコープたつたがわ〉

環境基本政策 1991年～



牛乳パック回収
〈1990年 ならコープ本部〉

- 事業高の0.1%程度の環境資金に活用
- ごみ問題を中心的なテーマに活動
- 生協独自のリサイクルシステム

ならコープの環境の取り組み

その1

地球温暖化問題への取り組み

ならコープのエネルギー政策にもとづきエネルギーを

つくる **へらす** **自立する** に取り組んでいます。

- 発電を目的とした、ならコープグループ法人「(株)コープエナジーなら」による再生可能エネルギーの開発
- 省エネの推進(店舗省エネ型ショーケース、電気自動車の導入(災害時の電源としても活用)。
- 電力事業ならコープでんきの供給
- 地域とともにつくれた再生可能エネルギー(小水力発電)「つくばね発電所(東吉野村)」「小又川発電所(下北山村)」
- 防災拠点に太陽光発電を活用した蓄電システムの導入
- 地域や家庭での再エネや省エネの普及をすすめる「一般財団法人 再エネ協同基金」の学習事業、助成事業の取り組み



つくる

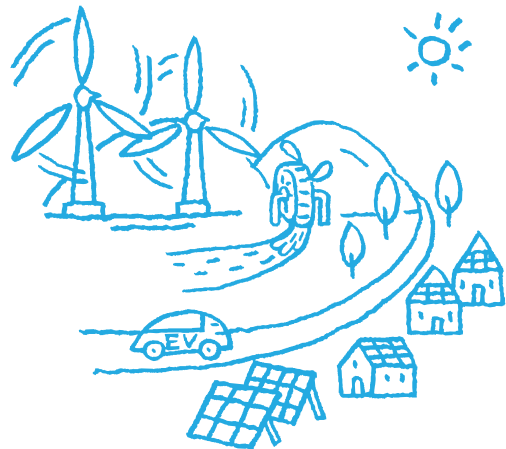
地域や家庭での太陽光発電施設・太陽熱温水器の普及をすすめます。

自立する

エネルギーを「つくる」「減らす」とあわせ蓄電池の導入をすすめて使用する。エネルギーの外部依存からの脱却を目指します。

へらす

店舗や施設、家庭での省エネをすすめます。



SDGs をすすめる商品普及の取り組み

- 地域、環境、社会、人々に配慮したお買い物「エシカル消費」の推進
- 森や海の資源、生態系に配慮した原料で商品作りをおこなうFSC認証、MSC認証 マークのついた商品の案内
- 奈良桜よしの天然水 8Lボトル利用1点につき1円を奈良県環境県民フォーラムに寄付
- 地元食材を利用することで地域を元気にする「食べる“なら”大和」の案内
- 奈良県産ヒノヒカリの利用1kgにつき1円(JAならけん・ならコープ双方0.5円ずつ)を「吉野の森と水を守るための募金」に積み立て

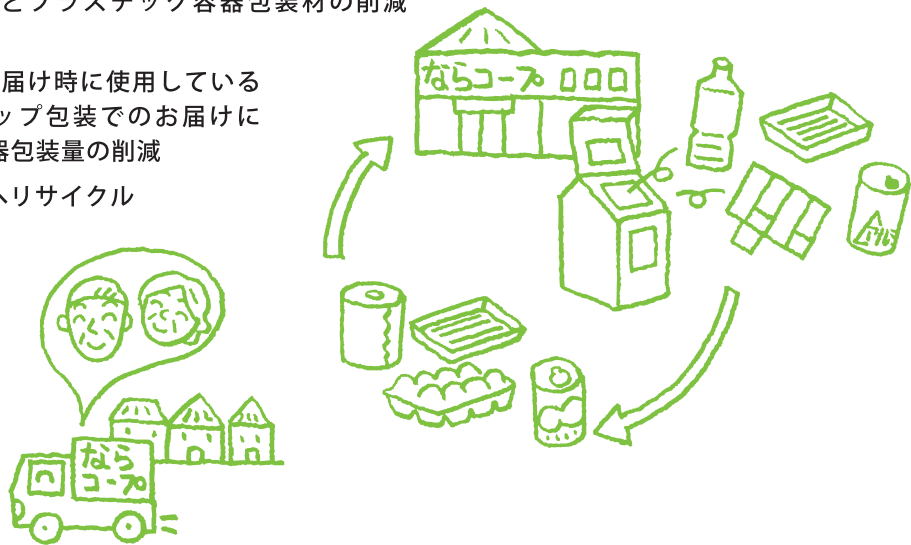


ならコープの環境の取り組み

その2

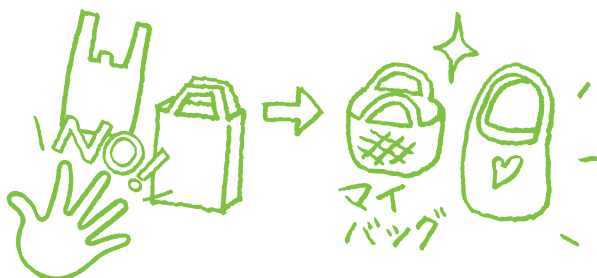
循環型社会をめざしたリサイクルループを拡大する取り組み

- 店舗や配達を通じて組合員から回収し、組合員とともにリサイクル運動
- ノントレー包装機などプラスチック容器包装材の削減(リデュース)
- 夕食宅配事業ではお届け時に使用しているレジ袋を廃止し、ラップ包装でのお届けによるプラスチック容器包装量の削減
- 生ごみは堆肥や飼料へリサイクル



奈良の豊かな自然と文化を次世代の子どもたちに引き継ぐ取り組み


- 吉野の森と水を守るための募金による植樹活動
- (株)ハートフルコープよしのを設立、吉野町西谷地区に事業所を開設し、地域の活性化と地産地消の促進、新たな雇用サービスの創出、宅配水・水耕栽培事業の実施
- 1992年から組合員が県内各地で、酸性雨、河川(COD:化学的酸素要求量)、大気(NO₂:二酸化窒素)の測定する環境測定活動を実施
- アースデーなど環境イベントの開催
- マイバッグ持参運動の実施(1982~)





私たちにできる環境にやさしいこと


食品ロス削減編


- 1** 買い物前に
ストック食品をチェック!
必要な分だけ購入。



- 2** 「ふぞろい」「わけあり」「見切り品」
など農産物以外にも余剰、端材を
活用した加工食品も上手に利用!


- 3** 作りすぎないことを
意識して調理。
余った食材も大切に!


- 4** 食材はできる限りまるごと
いただきましょう!


- 5** 残った食材は
「もったいない」の
気持ちで上手に保存!

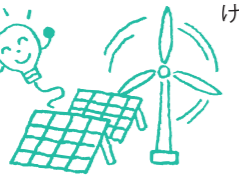

- 6** すぐに食べるなら
手前から取りましょう



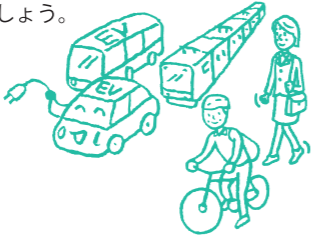
CO₂ 削減編

- 1** 電力会社を選ぶ


放射性廃棄物を出す原子力? CO₂を
たくさん出す火力発電? それとも
自然エネルギー?
みらいの子ども
たちにやさしい
発電方法を選び
ましょう。


- 2** 移動手段を選ぶ


徒歩・自転車・バス・電車・EV車両
などCO₂排出量の少ない手段を心が
けましょう。


- 3** 買い物方法を選ぶ


コープの宅配を利用すると便利な
だけでなくガソリン使用量の削減
につながります。


- 4** エネルギーを
自分でつくる

自然のエネルギーを有効に使い、
エネルギーを自分たちでつくり
ましょう。


- 5** エネルギーを
かしこくつかう

エアコン・冷蔵庫は省エネ性能
をチェックして選びましょう。
冷気や熱気は窓から侵入します。
窓の断熱を忘れずに。



※エネルギーを「つくる」「減らす」をするときには（一財）再エネ協同基金の助成事業をチェック

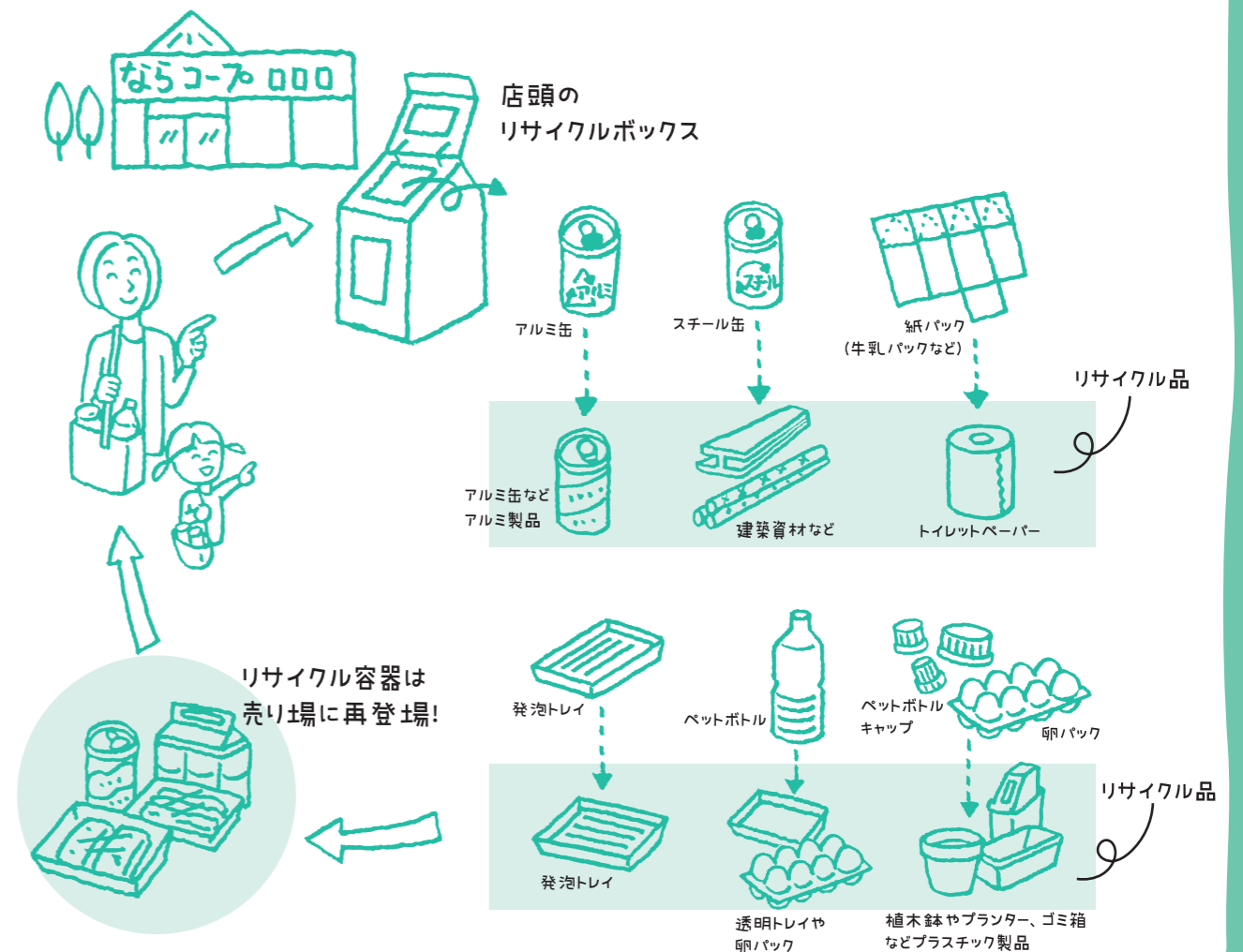
プラスチック容器包装削減編

- 1** マイバッグを持参する

組合員なら当たり前の行動ですがひとりひとりの行動がプラスチック容器包装削減につながります。継続して取り組みましょう。
- 2** プラスチック容器包装の少ない商品やバイオマス素材包装を
使っている商品を選ぶ

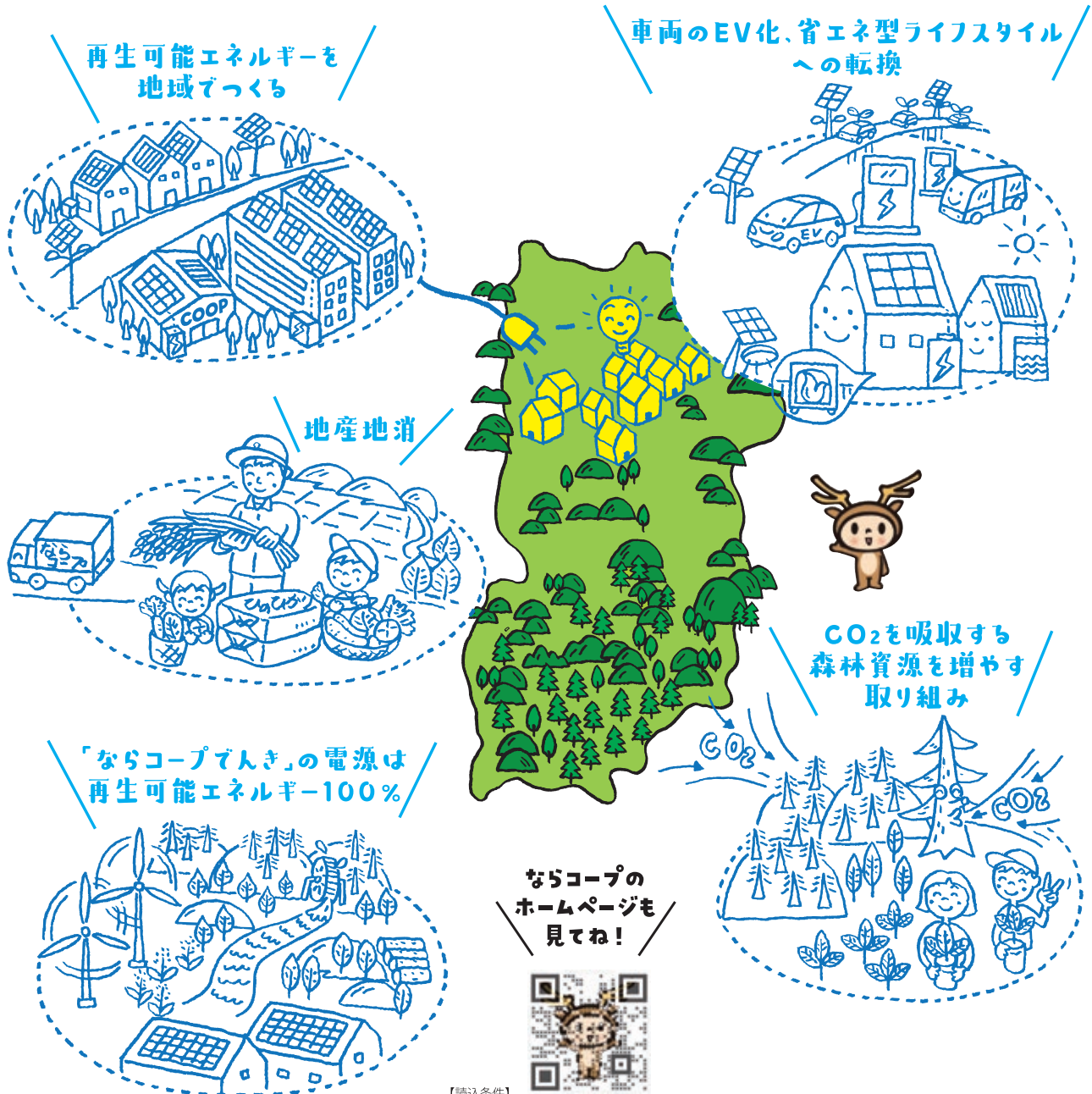
マイボトルやマイカップを持参するなど、リサイクルだけでなくプラスチックの使用
自体を減らすリデュースに取り組みましょう。
- 3** リサイクルに協力する

化石燃料は地下資源、リサイクル素材は地上資源と呼ばれています。地上資源を有効に
使いきるためにリサイクルルールを守り資源を有効に。



2050年CO₂排出量実質ゼロに 向けた取り組み

ゼロエミッションの実現



【読込条件】

- ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。
『iOS (iPhone/iPad) =Safari』『Android=Chrome』
- リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、
上記ブラウザをご利用ください。

市民生活協同組合ならコープ
奈良市恋の窪一丁目2番2号 TEL.0742 (34) 8731

